令和７年度 筑波大学芸術専門学群推薦入試 実技検査問題

実技検査科目 ［ Ａ１ 論述 ］

問 題.

別紙の要点を 200 字程度にまとめた上で、この事例に限定せず、展覧会がもちうる選別のシステムについて、あなたの考えを述べなさい。(全体で 800 字以内)

[別紙出典]
「おかんアート」とは 展覧会とは
朝日新聞 2022 年 3 月 29 日 夕刊 3 ページ 東京本社

時 間. １０：００～１２：００

別紙

（この部分は、著作権の都合により公開できません）

令和７年度 筑波大学芸術専門学群推薦入試 実技検査問題

実技検査科目 ［ Ａ２ 鉛筆デッサン ］

問 題.

与えられたモチーフ（電源延長コード）を持った手を、与えられた用紙（Ｍ画用紙ボード・Ｂ４判）に鉛筆で描きなさい。

［条件］
・ 用紙の縦位置（長辺が縦）、横位置（長辺が横）は自由に選択して良い。

時 間. １０：００～１２：００

令和７年度 筑波大学芸術専門学群推薦入試 実技検査問題

実技検査科目 ［ Ｐ１ 論述（鑑賞） ］

問 題. １

「芸術と多様性」について、具体例を挙げて論じなさい。(800 字程度)

時 間. １３：３０～１５：００

令和７年度 筑波大学芸術専門学群推薦入試 実技検査問題

実技検査科目 ［ Ｐ１ 論述（鑑賞） ］

問 題. ２

〔別紙〕に示す作品について、表現の特徴を記述しなさい。（1000字程度）

［別紙出典］
円山応挙 「牡丹孔雀図」 安永５年（1776） 絹本着色 130.5×99.0 cm 皇居三の丸尚蔵館
（展覧会図録『円山応挙−「写生」を超えて−』 根津美術館 平成28年 cat. 10）

時 間. １５：３０～１７：３０

［別紙］

（この部分は、著作権の都合により公開できません）

令和７年度 筑波大学芸術専門学群推薦入試 実技検査問題

実技検査科目 ［ Ｐ２ 論述（デザイン構想） ］

問 題.

近年、学校では障害の有無や性別、国籍の違い等に関わらず、多様な生徒が共に学ぶことを基本理念として、バリアフリー化推進のためのさまざまな取り組みが進められています。エレベーター、バリアフリートイレ、スロープの設置等はその成果の一部であると言えます。しかし、今の学校には物理的バリアだけでなく、心理的バリアが課題として残っているのも事実です。この問題に関する、次の 1)～3)の設問に答えなさい。

1) 現代の高校における心理的バリアを１つ以上取り上げて、あなたの考えを述べなさい。(1,000 字程度)
2) 1)で述べたバリアを取り除くための道具や空間的仕組みの提案を、図や絵を用いて表現しなさい。(A3 判 PM PAD 1 枚)
3) 2)のアイデアを文章で表現しなさい。(600 字程度)

時 間. １３：３０～１７：３０

令和７年度　筑波大学芸術専門学群推薦入試　実技検査問題

実技検査科目　［　Ｐ３　デッサン（木炭又は鉛筆）　］

問　題.

与えられたモチーフ（コンテナボックス、ブルーシート、紙ひも、水入りのガラス製ディスペンサー、りんご、軍手）を与えられた位置から、与えられた用紙（650×500㎜）に木炭又は鉛筆で素描しなさい。

[条件]
1. 木炭紙又は白象紙のうち、いずれか１枚を選択すること。
2. 用紙の縦（長辺が縦）、横（長辺が横）は自由に選択して良い。
3. 木炭と鉛筆を併用しても良い。

時　間.　１３：３０～１７：３０

令和7年度 筑波大学芸術専門学群推薦入試 実技検査問題

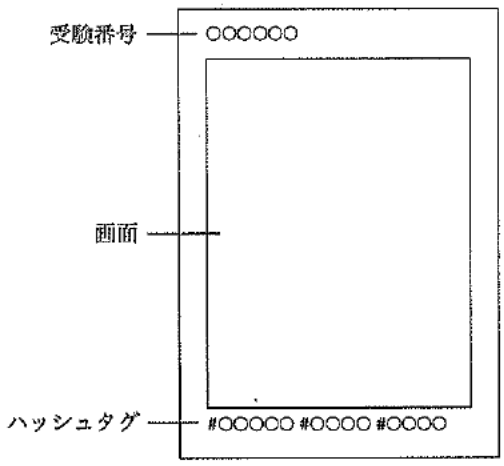
実技検査科目 ［ Ｐ４ 平面構成 ］

問 題.

別紙の図から線や面を抜き出して、与えられた解答用紙（B3 判）に平面構成を行いなさい。
また、この平面構成を SNS に投稿するとして、ハッシュタグを書きなさい。

[条件]
1. 画面は縦 400㎜、横 300㎜ とし、用紙の中央に配置する。
2. 抜き出した線や面は以下の条件で扱う。
   ・全ての線や面を使用しなくても良い。
   ・繰り返し使用しても良い。
   ・自由に拡大縮小しても良い。ただし縦横比は変えないこと。
3. 色の使い方は自由とする。
4. 画面外の左下に「#芸専 #平面構成」以外のハッシュタグを３つ書くこと。

[注意]
受験番号は解答用紙の以下の図に示す位置に鉛筆で書きなさい。



[別紙出典]
The United States Patent and Trademark Office
Patent number: 2714326

時 間. １３：３０～１７：３０

別紙

（この部分は、著作権の都合により公開できません）

令和七年度　筑波大学芸術専門学群推薦入試　実技検査問題

実技検査科目　［　Ｐ５　書　］

問　題　一　別紙一の漢字古典作品を半紙に臨書しなさい。
ただし、連続する六文字を選ぶこと。

［別紙一出典］『書法叢刊』二〇一四年第一期（文物出版社）一一頁

問　題　二　別紙二の仮名古典作品を短冊に原寸で臨書しなさい。

［別紙二出典］『日本名跡叢刊』三八（二玄社　一九八〇年）一五頁

問　題　三　次の俳句を色紙に書きなさい。
ただし、連綿・構成および漢字と仮名の変換は自由とし、仮名は変体仮名を交えてよい。落款は赤サインペンで「印」の形・大きさ・位置を示すこと。

はつ雁（かり）やうしろに雲の筑波山

問　題　四　次の詩句を画仙紙（半切二分の一）に書きなさい。
ただし、書体・書風・構成および紙の縦横は自由とする。落款は「黄葵書」とし、印については問題三に同じ。

秋涼初喜夜燈前

時　間　十三時三十分～十七時三十分

別紙一

（この部分は、著作権の都合により公開できません）

別紙二

（この部分は、著作権の都合により公開できません）